

数値目標の達成状況（小児センター）
（１）医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

数値目標	単位	2023 実績	2024 目標	2024 実績見込	達成率	2025 目標	目標未達理由と今後の対策
手術件数	件	2, 535	2, 070	2, 581	124. 7%	2, 110	【今後の対策】 ・手術枠の見直し（利用率の低い診療科の手術枠を減らし、手術待機期間の長い診療科の手術枠を増やす）を随時行っていく。
救急患者数	人	10, 185	7, 000	9, 338	133. 4%	7, 000	【今後の対策】 ・関係する医療機関へ「重症患者相談システム」の周知を継続するとともに、ドクターカーやドクターヘリによる重症患者を積極的に受け入れ、不応需ゼロを継続する。
重症患者相談システム利用件数	件	121	70	160	228. 6%	80	【今後の対策】 ・重症患者相談システムを県内の救命救急センター及び東海３県の病院小児科へ周知し、更なる利用件数増を目指していく。
出生前遺伝的検査	件	427	650	437	67. 2%	750	【目標未達理由】 ・前年比で件数は増加しているが、出生数自体が少ないため目標に未達となった。 【今後の対策】 ・より多くの妊婦を受け入れるために、開業医等を対象としたセミナーを開催し、NIPT（非侵襲性出生前遺伝学的検査）の増加に努めていく。
患者満足度(上段:入院、下段:外来)	%	91. 9 94. 8	95. 0 95. 0	92. 3 93. 6	97. 2% 98. 5%	95. 0 95. 0	【目標未達理由】 ・一部サービス部門に対する満足度が低かったこと等により、全体として未達となった。 【今後の対策】 ・アンケート結果を関係部門と情報共有し、改善に取り組む。
クリニカルパス使用率	%	66	66	69	104. 5%	66	【今後の対策】 ・必要に応じて、新規パスの作成と既存パスの修正を継続する。
紹介率	%	87	80	97	121. 3%	80	【今後の対策】 ・医療連携懇話会等を活用して連携医療機関との関係を強化する。
逆紹介率	%	65	50	58	116. 0%	50	【今後の対策】 ・逆紹介率の対象とならない回答書で逆紹介を行っているケースもあるので、医局会等で「回答書」ではなく「診療情報提供書」の作成を促す。
専攻医の受入件数	件	2	3	1	33. 3%	3	【目標未達理由】 ・県内での専攻医募集は四大学の小児科と調整のうえ限定的に行っていること、また県外の対象者においては他の小児病院と競合状態となっていることによる。 【今後の対策】 ・引き続き、ホームページ等で募集に努める。他施設の研修基幹プログラムにおける連携施設としての専攻医の受け入れが多いため、積極的に対応していく。
保健医療相談件数	件	6, 769	6, 800	5, 422	79. 7%	7, 100	【目標未達理由】 ・相談対応スタッフの減員により、目標未達となった。 【今後の対策】 ・現状のスタッフにより、相談への不応需が発生しないよう、運用方法を検討する。

(2) 経営指標に係る数値目標

数値目標	単位	2023 実績	2024 目標	2024実績見込	達成率	2025 目標	目標未達理由と今後の対策
修正医業収支比率	%	67.4	76.0	68.8	90.5%	75.9	【目標未達理由】 ・平均在院日数が計画より短かったことにより入院収益が計画を下回ったことや、給与改定により給与費が計画を上回ったことなどによる。 【今後の対策】 ・手術枠の見直しや、より一般的な疾患も積極的に受け入れることをクリニックなどにアピールすることにより新入院及び新来患者を確保し、医業収益の増を図るとともに、材料費等の費用の圧縮に努め、医業費用の伸びを抑える。
新入院患者数	人	8,110	8,334	8,554	102.6%	8,311	【今後の対策】 ・手術枠の見直しを継続するとともに、重症・特殊疾患に限らず、より一般的な疾患も積極的に受け入れることを、医療懇話会や各種講演会、診療所訪問などでアピールする。
病床利用率 (参考:予算達成率)	%	59.8 (87.3)	69.0	66.8 (96.8)	96.8%	69.0	【目標未達理由】 ・新入院患者数は増加傾向にあるが、平均在院日数が計画より短かったため。 【今後の対策】 ・手術・治療前後の入院期間について、休日も含めて適切な日数を確保するよう努める。
新外来患者数(初診料算定数)	人	10,724	11,163	10,179	91.2%	11,163	【目標未達理由】 ・計画策定時には見込んでいなかった紹介受診重点医療機関への指定(2023年8月)に伴い、紹介によらない初診患者の減少につながったことなどによる。 【今後の対策】 ・より一般的な疾患も受け入れることを医療懇話会や各種講演会・診療所訪問などでアピールしていく。
1日当たり外来患者数	人	337	408	340	83.3%	408	【目標未達理由】 ・計画策定時には見込んでいなかった紹介受診重点医療機関への指定(2023年8月)に伴い、紹介によらない初診患者の減少につながった。 ・コロナ禍以降待ち時間短縮対策として実施している外来再診頻度の抑制について見直しを図ったが、十分に浸透しなかった。 【今後の対策】 ・より一般的な疾患も受け入れることを医療懇話会や各種講演会・診療所訪問などでアピールしていく。 ・各診療科の臨時診察枠をより有効活用して、適正な再診頻度を確保する。
公的研究費獲得額	千円	22,166	11,000	8,732	79.4%	12,000	【目標未達理由】 ・応募件数の増加に伴い採択率が低下したことなどにより、未達となった。 【今後の対策】 ・臨床研究室の活動を強化して、科研費を含む新規研究費獲得へ申請件数を増やす。
治験件数	件	23	36	35	97.2%	39	【目標未達理由】 ・治験が不慣れな医師や未経験な医師が、受託できなかったケースがあった。 【今後の対策】 ・医師向けに治験受け入れの勉強会を実施するとともに、院内CRCや治験事務局が積極的に支援を行う。
新規治験実施件数	件	6	14	13	92.9%	16	【目標未達理由】 ・治験が不慣れな医師や未経験な医師が、受託できなかったケースがあった。 【今後の対策】 ・小児治験ネットワークや国立成育医療研究センターなどと情報を共有するとともに、研修会等に積極的に参加することにより、治験の受託件数の増加を図る。
院外処方率	%	90.2	92.0	91.4	99.3%	92.0	【目標未達理由】 ・特殊な薬剤や夜間救急の院内処方が増加したため。 【今後の対策】 ・引き続き、特別な事情を認めた薬剤以外は、原則100%院外処方とする。
後発医薬品の使用割合	%	81.8	80.0	79.0	98.8%	80.0	【目標未達理由】 ・後発医薬品の供給不足で、一部先発品を使用せざるを得ないことが影響している。 【今後の対策】 ・引き続き、診療時の案内により後発医薬品服用・使用の推進を行う。
職員充足率	%	96.6	100.0	97.0	97.0%	100.0	【目標未達理由】 ・医師・看護師等の欠員が生じたため。 【今後の対策】 ・長時間勤務者への面接指導等を通じて時間外縮減に取り組むなど、継続して働きやすい環境への改善を行う。

